

USER MANUAL

Spitfire Studio Brass Professional

目次

はじめに	1
製品仕様	1
ダウンロードとインストール	4
THE SPITFIRE AUDIO APP	4
SPITFIRE APPの設定	6
KONTAKT (PLAYER) での登録	7
フォルダ構造	8
インストールメントのロード	9
基本操作	10
インターフェース	11
ビューの切り替え	11
オーバービュー・パネル	12
アーティキュレーション	14
ロング・アーティキュレーション	14
ショート・アーティキュレーション	16
基本的なオーケストレーションの原則	17
エキスパート・ビュー	20
アーティキュレーションを切り替える他の方法	23
オスティナトゥム	28
付録	31
推奨環境	31
KONTAKTとKONTAKT PLAYER	32
アーティキュレーション・リスト	33
マイク、ミックスの略記	42
スタンダード・アレイ	42
拡張アレイ	42
ステレオ・ミックス	43
UACC	44
UACCキースイッチ	46
FAQとトラブルシューティング	47

はじめに

この製品は、まったく新しいSpitfire Orchestraシリーズの2つ目のリリースとなります。私たちの野望は、多用途でプロ仕様のドライなステージ・サンプル・ライブラリを作成することでした。豪華なLyndhurst Hallよりも小規模で制御しやすいAir Studio Oneの鮮明で力強い音響環境を選択することで、私たちは、深みや細かさ、焦点をすべて兼ね備えたブラス（金管楽器）ライブラリを作曲家たちに提供できます。バス・トランペット、コントラバス・チューバ、チンバassoなど、耳にする機会の少ない楽器も含めた、金管楽器のフルセットです。壮大なパワーが満ち、かつドライ・ステージの優雅さと緻密さも兼ね備えています。

製品仕様

- 113 GB ディスク容量
- 226 GB インストール時に必要なディスク容量
- NKS対応、NI製ハードウェア互換
- 無料のKontakt Player付属
- Kontakt 5.6.8以上
- インライン・ヘルプを備えた直感的なGUI
- 複数のマイク・ポジション (C, T, A, O)
- 詳細なサンプリング
 - 豊富なインストゥルメント数
 - 豊富なアーティキュレーション数
 - 豊富なダイナミクス数
 - 豊富なラウンドロビン数
 - リリース・トリガー
 - ツール・レガート

⚠ 最新の対応状況についてはWeb上の製品ページをご確認ください。

あなたの創造性、あなたのコントロール

Spitfire Studio Brassは、私たちの新しいSpitfire Studio Orchestraシリーズの第二弾です。このライブラリーは2年間の開発を経て、プロ向けで汎用性が高いドライ・ステージのサンプル・ライブラリーを目指して作られました。Lyndhurst Hallの豪華さとは異なった、Air Studio Oneのクリアで鮮明な音響環境を選び、より小さくコントロールしやすい空間で録音されたこのライブラリーは、作曲家たちに深みやディテール、そして驚異的なパワーを備えたブラス・サウンドを提供します。バス・トランペット、コントラバス・チューバ、チンバassoといった、あまり耳にする機会の少ない楽器も含むブラス・ファミリー全体を網羅しています。壮大なパワーを持ちながら、ドライ・ステージの特性により、繊細さと精密さも兼ね備えています。本ライブラリーは豊富なアーティキュレーションで幅広い感情的な表現を捉えており、ソロ、デュエット、セクション演奏を選択できるほか、スウェルやフラッター・タン、スタッカティッシモのような特殊な奏法も備えています。プレイヤーの近くに配置されたマイクから、Air Studio Oneの周囲に配置されたアウトリガーやアンビエント・マイクまで、マイクを自由に選択、組み合わせることで、トーンを思い通りにコントロールできます。

次章へ

Studio Brassは、2年をかけて開発されたStudioシリーズのオーケストラ・ライブラリーの第二弾です。Spitfireの代名詞である、一線級のロンドンのセッション・プレイヤーたち、最高の楽器、そしてグラミー賞受賞のエンジニアSimon Rhodesによって録音された優れたシグナルは、このシリーズにも健在です。この部屋は、パンチの効いたブラスのダイナミック・レンジを確実に捉えるために最適化されています。私たちの既存のシンフォニックやチェンバー・シリーズと同様に、あらゆるアーティキュレーション、ダイナミック・レイヤー、ラウンドロビンを収録し、途切れのない滑らかなリアルリズムを実現しました。

Studio Brassは、Spitfire Studio Brassと、より充実したSpitfire Studio Brass Professionalの2バージョンで提供されています。

Spitfire Studio Brass Professional

Spitfire Studio Brassには8つの楽器が収録され、4人のソリストと2人のプレイヤーによるセクション演奏が含まれています。これらはすべてSchoeps製デッカツリーで録音されました。Studio Brass Professionalではこれに加え、17種の楽器が収録され、ピッコロ・トランペットからコントラバス・チューバまで多彩な演奏が楽しめます。13種のソロ楽器には、2人のトランペット奏者や2人のホルン奏者が含まれています。音のコントロールは柔軟で、2種類の既成ミックス、2種の近接マイク、2種のデッカツリー、アンビエント、アウトリガーが使用可能。Simonのマイク配置を基に、Neumann, Schoeps, Sennheiser, SE Electronicsといった最高品質のマイクを駆使して、自分好みのミックスをカスタマイズすることができます。

Simon Rhodes

私たちの全く新しいStudio Orchestraシリーズのエンジニアとして、Simon Rhodesは当然の選択でした。彼は複数のグラミー賞を受賞し、Abbey Road Studiosのシニア・エンジニアを務める、マイク技術の達人です。James Hornerのお抱えエンジニアとして18年間活躍し、『Avatar (アバター)』『Skyfall (007 スカイフォール)』『Spectre (007 スペクター)』などの大作映画でも彼の手腕が発揮されました。

「Spitfire Studio Brassのセッションでは、Studio Stringsのセッションと同様のアプローチを取りました。ライブラリー間で一貫性を保つためです。メインのSchoeps製ルーム・マイクは同じもので、スポット・マイクにはセクション用マイクと、リボン・マイク (Voodoo VD2) を使って2種類の音を捉えました」。

ユーザーはSimonのミックスを選択できますが、Professionalエディションでは、近接からアンビエントまでさまざまなマイク・オプションをカスタマイズできます。さらに、Schoepsマイクを使用した2つのツリー・セットアップも選択可能です。「2つ目のセットアップでは、Schoeps MK 21ワイド・カーディオイド (またはサブオムニ) を使用しました。このマイクは、室内音を抑えながらも距離感と視覚的な広がりを持たせるのに優れています。

ダウンロードとインストール

Spitfire Audio Appを[ダウンロード](#)すると、アプリを通じてライブラリをダウンロードできるようになります。

THE SPITFIRE AUDIO APP

アプリを起動して、弊社のWebサイトと同様にログインしてください。

Sign In

E-mail

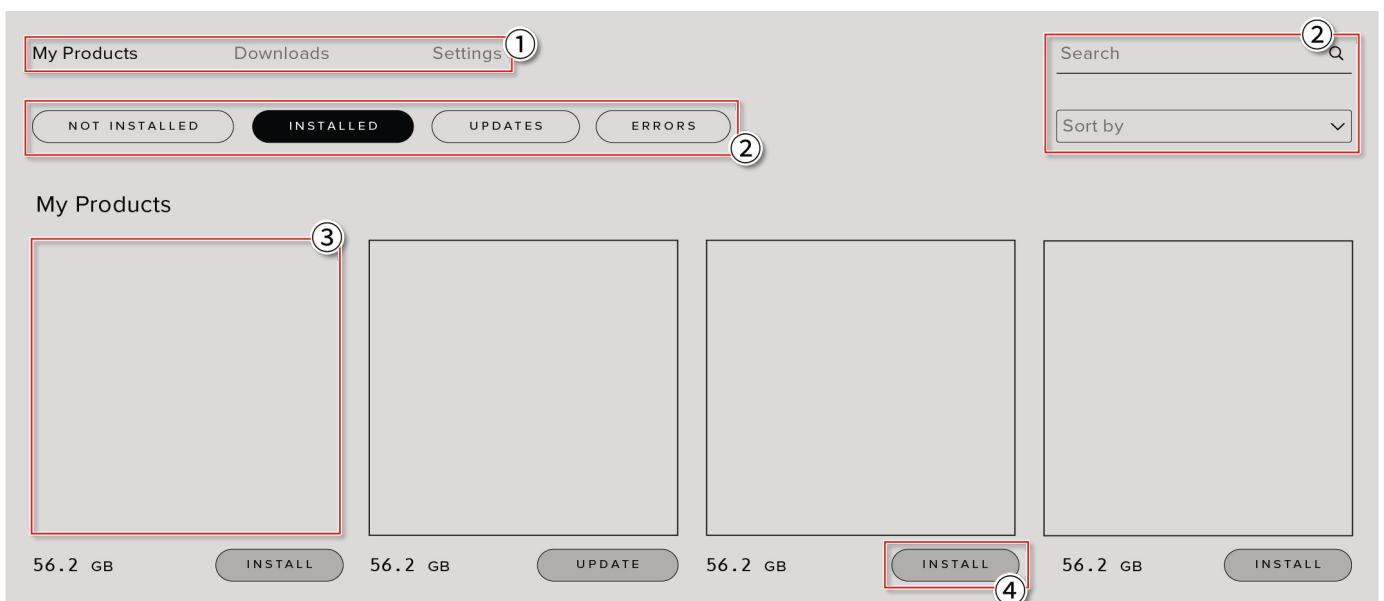
Password

[FORGOT PASSWORD](#)

[REMEMBER ME](#)

[CREATE ACCOUNT](#)

[LOGIN](#)



① タブ

デフォルトは**My Products**です。**Downloads**には、ダウンロード中の製品が表示されます。

② フィルタ

フィルタをクリックして、まだインストールされていない製品、インストール済みの製品、利用可能なアップデートが表示されます。再度クリックしてフィルタを解除します。

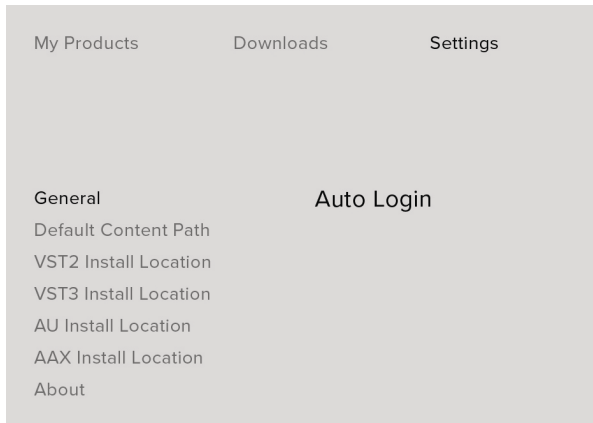
③ ライブラリ

コレクション内のすべてのライブラリとプラグインが、アートワークと共に表示されます。アートワークをクリックすると、製品ページが開きます。システム要件や説明書、リセットや修復オプションなどの情報を見つける際に使用します。

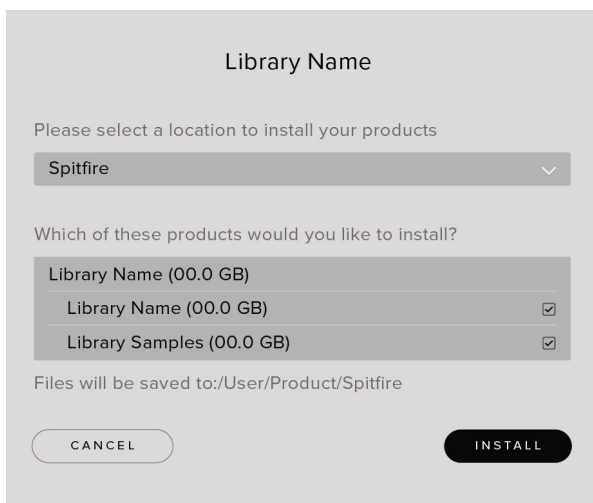
④ [INSTALL]／[UPDATE]

ボタンをクリックすると、ライブラリに移動する代わりに、**My Products**タブから直接ダウンロードを開始できます。ボタンの横には、ダウンロード時のサイズが表示されます。

SPITFIRE APPの設定



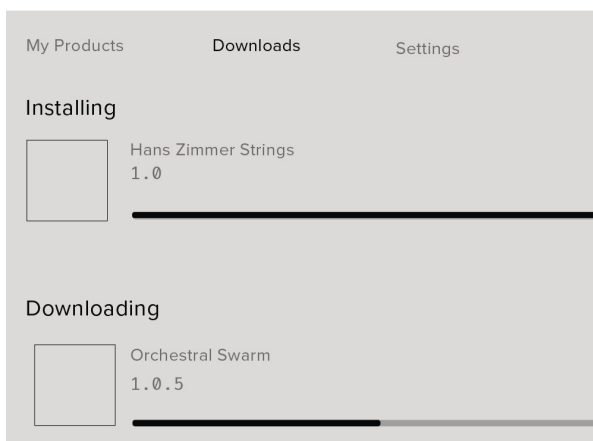
Spitfire Audio Appを初めて利用される場合、まず**Settings**タブを開いてください。ライブラリのダウンロード時のDefault Content (デフォルト・コンテンツ) の場所や、プラグイン (VST2, VST3, AU, AAX) のインストール先を設定できます。**Auto Login**を有効にすると、次回以降のログイン時間が短縮されます。



設定の完了後、[INSTALL]ボタンをクリックします。このボタンは、ライブラリのアートワークの下の**My Products**タブ、または各ライブラリ・ページに表示されます。

クリック後、インストール先を指定します。上述のデフォルト・コンテンツの場所以外に、ここでは任意の場所を指定できます。[HDD Install]選択時にも適切なインストール場所を指定してください。

インストール先が決まったら、[DOWNLOAD]をクリックします。

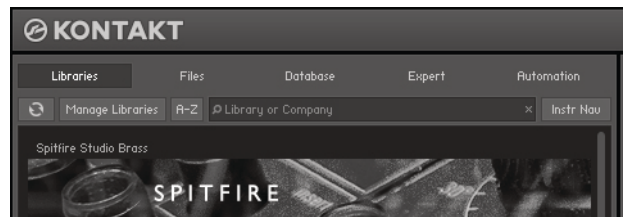


Downloadsタブが表示されます。他のタブに切り替えて別のダウンロードを開始することもできますが、Spitfire Audio Appは終了しないようにしてください。

KONTAKT (PLAYER) での登録

Native Instrumentsの無償のKontakt Playerは、[こちら](#)から入手できます。

1. Kontakt Playerをインストール。
2. Kontakt Playerを開き、PreferencesまたはOptions内、Librariesタブ右下に表示される[Launch Native Access]をクリック
3. Native Accessウィンドウ左上の[Add Serial]をクリック。
4. Kontakt Playerのダウンロード時に受け取ったメールに記された、25桁のシリアル番号を入力。
5. ライブラリの所在を尋ねられますので、nicntファイルの置かれたフォルダを指定。
6. 完了。ライブラリがサイド・パネルやブラウザに表示されない場合、巻末のFAQをご確認ください。



初めてKontaktを使用される場合は、Kontaktのユーザー・マニュアルやNative Instrumentsのサイト等で、パッチ (インストゥルメント) のロード、マルチのマネージメント、出力、MIDIルーティングの基本をよく理解することをお勧めします。

すでにKontaktをお使いの方は、Native Accessから最新バージョンをダウンロードしてください。Kontaktのライブラリは頻繁に更新されており、以前のバージョンでは動作しないことがよくあります。

NKS - NIハードウェアとの使用

NKSとNative Instrumentsのハードウェア・コントローラやキーボードとの統合についての詳細は、該当のマニュアル等をご確認ください。

フォルダ構造

[Instruments]バーをクリックすると、各楽器の基本スタートアップ・パレットが表示されます。これらは、厳選された主要アーティキュレーションを含む主な基本パッチです。

Advancedフォルダをクリックすると、カテゴリごとに分類されていることがわかります。1つ上のフォルダに戻るには、Advancedフォルダ左側の上矢印↑をクリックしてください。

Extended Techniques

各セクションのコアおよび装飾テクニックを含み、ベーシックなスタートアップ・パッチからもう1段階詳細な情報を閲覧できます。

Individual Articulations

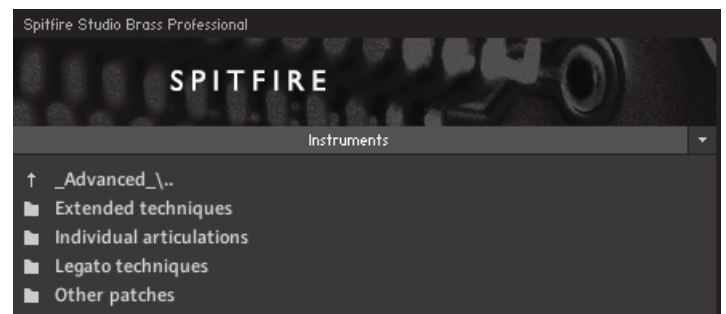
個々のアーティキュレーションが個別のパッチに含まれています。

Legato Techniques

これらのモノフォニック・パッチは、音を「つなげて」演奏することを前提にしています。特に、トップラインのソロ演奏で人気があります。

Other Patches

以下の3つのアーティキュレーション・タイプを含みます。



Economic

RAMを圧迫しないよう厳選されたアーティキュレーションの小規模なセレクション。

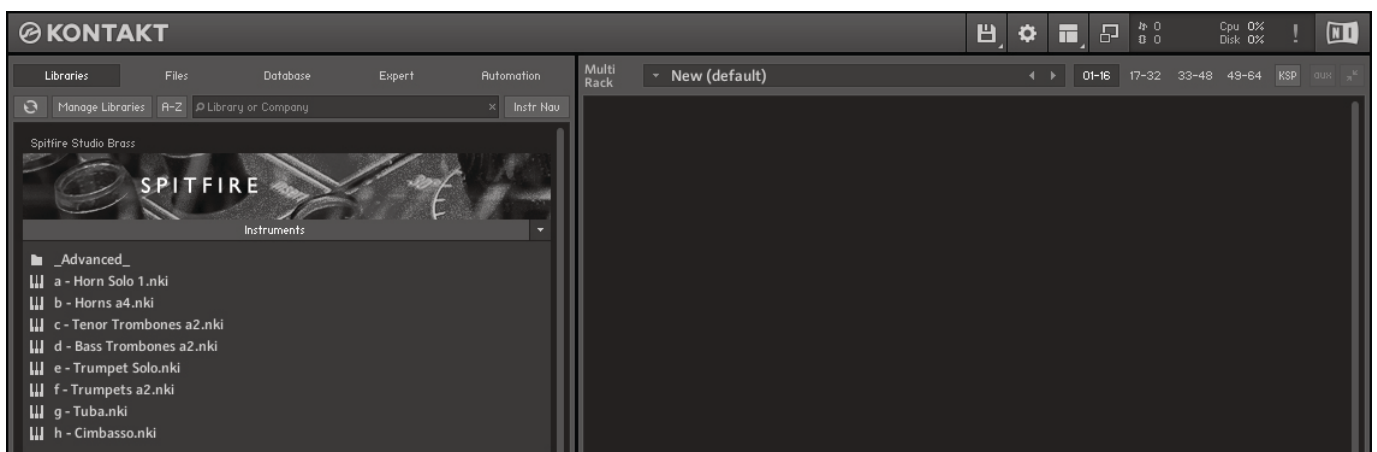
Light

CPU負荷を軽減するよう簡素化されたアーティキュレーション。

Time Machine

これらのパッチは、ショート・アーティキュレーションをすべてRAMに完全にロードしており、MIDI CCで短いノートの長さを変化させられます。

インストゥルメントのロード



nkiファイル (Kontaktインストゥルメントを表す) をダブルクリック、またはサイド・パネルからパッチをドラッグしてロードします。

MIDIキーボード等の送信MIDIチャンネルと、Kontaktインストゥルメントのチャンネルが同じであることを確認してください。

基本操作

弊社製のインストゥルメントを初めてお使いになる方でも、幾つかの操作原則さえ理解いただければ、すぐに使えるようになります。



- (1) アーティキュレーションを切り替えるには、インターフェース下部に並んだ●スイッチを使います。MIDIキーボードの一番下にあるキースイッチでも切り替えられます。
- (2) 長いノートを鳴らす場合には、モジュレーション・ホイール (CC#1 ; 右図) を活用してください。



わからないことがあれば、その操作場所の近くにある小さな情報ボタン*i*をクリックすると、各種の情報(英語)が得られます。

インターフェース

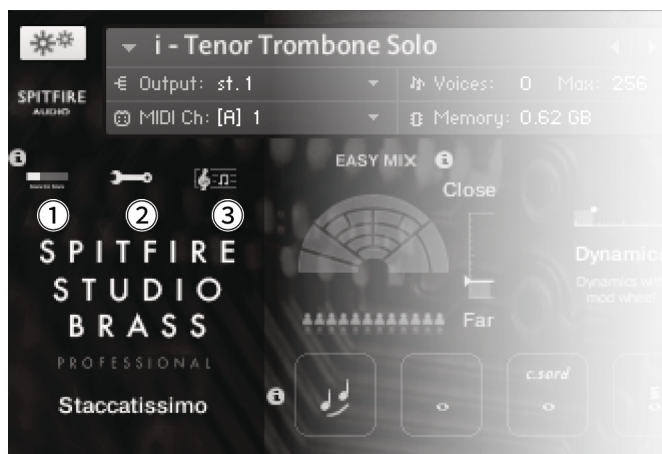
ビューの切り替え



プリセットを最初にロードすると、このGUIが表示されます。これは3つのページのうちの1つで、パネル・スイッチャーでページを切り替えられます。

- ① オーバービュー (上図にあたる)
- ② エキスパート・ビュー
- ③ オスティナトゥム

すべてのGUIコントロールには固有のコントローラー番号を割り当てられます。右クリックまたはCtrl+クリックを通じ、割り当てや解除、またMIDI CCの割り当て状態を確認できます。



Kontaktの[Automation]ペインでコントローラーのパラメーターを変更できます。例えば、モジュレーション・ホイールを動かす際にその変化幅を0~127から20~100に制限できます。また、変化方向を反転させるには0~127を127~0に変更します。

オーバービュー・パネル



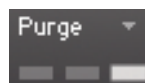
① アーティキュレーション・スイッチャー

アイコンはキー・アーティキュレーションを表し、演奏中のアーティキュレーションを示します。

これらのアーティキュレーションはディープ・サンプリングされており、演奏の途切れ、遅れ等が発生する場合は、すべてのアーティキュレーションが完全にロードされていることを確認してください。

ロード・ステータス

Kontaktでのインストゥルメントのロード状態を確認します。左側のバーが赤く点灯しているとき、まだロードは開始されておらず、中央のバーが黄色く点灯しているときは、ロードの最中です。



アーティキュレーション

スイッチャーで音符をクリックすると、さまざまなアーティキュレーションが選択できます。選択中のアーティキュレーションは、サイド・バー③に表示されます。また、キースイッチを押すことでもアーティキュレーションを切り替えることができます。演奏中でもこの操作が行えるので、例えばロング・アーティキュレーションからショート・アーティキュレーションに切り替えたい場合は、直前のロング・ノートを演奏中にキースイッチを押して、次のノートをショートとして演奏できます。収録アーティキュレーションの詳細については、後述。

⚠ 音符をShift+クリックすると、複数のアーティキュレーションを選択して演奏できます。

② サイド・バー

使用中のアーティキュレーションを表示します。

③ EASY MIX

オーケストラは、複数のマイク・パースペクティブで録音されました。このスライダーを上下に動かすと、バンドから感じられる距離を変えることができます。

⚠ サンプルのロード／アンロードに作用するため、操作にタイムラグが発生する場合があります。

④ CONTROLLERS

Dynamics	恐らく最も重要なコントローラーです。録音された各種ダイナミック・レイヤー間をクロスフェード。
Vibrato	ビブラートなし (Senza) からビブラート多め (Molto) にクロスフェード。
Release	リリース・トリガーの量を調整。
Tightness	サンプル波形の出だしをカットしてレスポンスを速くすることで、タイトなパッセージの演奏時にキレのあるサウンドを得ます。 リアリズムとタイトさを両立するためには適度なタイトネスを設定した上で、DAW上のトラックに対してマイナス値のディレイを設定します。お使いのDAWのマニュアルも参照してください。
Expression	表面上は楽器のトリム (CC#11) ですが、楽器の音量 (CC#7) 内における音量を調整します。Dynamicsと併用すると効果的。

アーティキュレーション

ライブラリ内のアーティキュレーション名に使用されるすべての用語について説明します (アーティキュレーションとは、主に楽器の演奏方法であり、シンセサイザーで使用するような独立したパッチとしてキャプチャされます)。

ロング・アーティキュレーション

LEGATOS

サンプル楽器でいうレガートとは、ある音から次の音に移る楽器の音をとらえるテクニックのことです。このディテールをとらえることで、リアルさが増しますが、モノフォニック (単音) で演奏する必要があります。

NORMALE

私たちが録音した「ロング・ノート (長音)」の中で最もありふれたものです。基本となる演奏スタイルで、ビブラートの有無があります。「ノン・ビブラート」を意味する'senza vib'もあります。また、モジュレーション・ホイール (またはCC1) に設定したスライダーを使って、サウンドの「ダイナミクス」をコントロールでき、ソフト (「pp」) からラウド (「ff」) なサンプルまでがスムーズにクロスフェードされます。また、CC21のスライダーでビブラートの量がコントロールでき、ノンビブラートから最大ビブラートまでスムーズにクロスフェードされます。

CUIVRE

フランス語で「生意気な」の意味。通常よりもエッジの効いた、鼻にかかった攻撃的なサウンドで演奏するスタイルを指します。そのため、通常は音量が大きくなります。

BELLS UP

ホルン奏者限定。ベル（楽器の「端」部分）を観客方向に向けると、大きな音が出ます。音程の正確さを期すために、右手をベルにと留めておくことができます。初期の例としては、マーラーの交響曲第1番やストラビンスキーの『春の祭典』などがあります。エキサイティングな音です！

CON SORD/MUTED/STOPPED

'con sordino'の略で、「ミュート付き」の意味。楽器のベル部分にミュートを装着します。ホルンでは、手でベルを「止める」意味の「STOPPED」がよく使われ、ミュート同様の効果ながら強烈な効果があります。ホルン・ミュートも存在しますが、「ストップ」の方が人気があります。

TRILLS

トリルとは、奏者が左手で2つの音程を素早く交互に鳴らすことです。2つの音を素早く交互に鳴らすことです。演奏のアクセントとして使用したり、ソフトに演奏して、美しい"雲"のような質感を作り出すこともできます。

⚠ 本製品ではこれらの長い音符をすべてループさせているため、奏者が息切れして音符が切れてしまう心配はありません。ただし、例えばコントラバス・トロンボーンをff(フォルテッシモ)で低音で演奏するなら1回の息継ぎで約1.5秒が限界です。こうした楽器のいくつかは、ループ・ポイントの継ぎ目を目立たせることなくループさせるのが非常に難しいという点に注意してください。もしもループ・ポイントが聞こえたら、音を長く押さえすぎていて、非現実的なパートになっています。

FLUTTER

演奏中に口で巻き舌することで、特徴的な「震えた音」を鳴らします。

SWELLS

ソフトに始まり、徐々にダイナミクスを増していきます。ppからffまで、すべての設定が可能です。Variationフェーダーを使うと、収録されたサンプルの再生長を変えられます。

ショート・アーティキュレーション

STACCATO／STACCATISSIMO

最も短い音符のスタイル。タイトなスタッカート、またはさらに短いスタッカティッシモ。

TENUTO

中程度に短い長さで「記譜音符のフルの長さ、またはそれよりわずかに長く保持する」ことを意味し、何らかのアクセントを意味します。丸みを帯びたアタックとなります。

MARCATO

短い音符の中では最も長い。出だしの柔らかい形を保ちつつ、やや強めのアタックを持ちます。ファンファーレのパッセージで最も長い音符と考えるとよいでしょう。

RIP／FALL

ターゲットの音程まで素早く上がる「Rip」、ターゲットの音程から素早く下がる「Fall」です。Variationスライダーで速度を選択します。

MULTITONGUE

弊社独自のもので、私たちのお気に入りのツールの1つです。ダブル（2重）、トリプル（3重）、クアドラプル（4重）のタン・ノートをVariationスライダーで選択します。キーボードを強く叩くとアクセントのある最終音になり、ソフトに叩くと掠れたようなタイトな最終音になります。コントロールの組み合わせがこのパッチを便利なものになっています。

FX

様々な特殊効果のコレクション。ぜひおためしください。

基本的なオーケストレーションの原則

ブラスのオーケストレーションの原則を技術ユーザー・マニュアルの少ないページでまとめようとは思いませんが、選択肢が多く、戸惑うこともあるので、できる限りお手伝いしたいと思います。エレクトロニック・オーケストレーションの原則はシンプルです。伝統的なオーケストレーションは楽器の特性を最大限に引き出すよう進化してきました。ですから、電子的に楽器が得意とすることを理解し、それを使って親しみやすい音を作れば、リアルで信憑性高いようなサウンドになります。ルールはありませんが、「説得力」が求められます。良い音楽を聴き、自分の作品に正直であり、過去に培ってきた先入観を捨て、オープンで実験的な心で取り組めば、うまくいくでしょう。各金管楽器の得意分野をよく知らず、ただ「その音が好き(だから使いたい)」という場合でも、以下のような一般的なガイドラインや原則が役立つかもしれません。主に物理学や楽器の人間的な操作に基づいたものです。

1. どの楽器を選ぶべきか

まず考えるべきは、その楽器がどのような目的や機能を果たすかという点です。メロディを演奏したいのであれば、主役となるのは高音域のトランペットで、その下に広範な音域をカバーする高貴なホルン奏者が控えています。その次に来るのはトロンボーンで、ホルンと組み合わせて低音域のメロディを演奏します。これらはすべて古くから存在する楽器で、多くの人々が作り、演奏してきたため、美しい声楽的なメロディを演奏するのが得意です。楽器の音域内で演奏すれば、問題なく使いこなせます。

2. 音域

弦楽器とは異なり（第1バイオリンは第2バイオリンより高音域を演奏し、ビオラはチェロより高音域、コントラバスは最も低音域を演奏するのが一般的）、ブラスではそのような明確な役割分担がないため、音域が重なる部分が多くあります。そのため、どの楽器がどの音域を担当するかは、演奏可能な音域に基づいて判断するのがよいでしょう。いくつかの基本的な原則があります。楽器の音域の両端は、演奏が難しい傾向がありますが、特に高音域は低音域よりも演奏が難しいです。しかし、これらの両端での演奏技術は、楽器がオーケストラ内で占める音程範囲に依存します。トランペット奏者は高音域の演奏に長けており、ホルンは高音域で素晴らしいサウンドを奏でますが、これは高度な技術が必要です。逆に、コントラバス・トロンボーン奏者にfff（最大のダイナミクス）で音域の下限を長く演奏させると、肺一杯の空気を使っても1小節に満たないことがよくあります。

3. 機動性

どの金管楽器においても、音域の両端はより高度な呼吸コントロールが必要です。低音域では、安定した呼吸で音を出すことが課題になり、高音域では音のピッチが最も難しい要素となります。また、ブラス楽器には非常に基本的な原則があり、短い音には短い管が必要で、長い音には長い管が必要です。トランペットでは、空気が通るシャフトの長さは、コントラバス・トロンボーンのような長い管に比べて非常に短く、そのため、空気が通過する距離が長ければ長いほど、音が出るまでに時間がかかります。トランペットで複雑な速いフレーズが演奏され、チューバでそれがあまり演奏されない理由はここです。また、ブラス楽器の音がピストン式バルブで作られるのか、リップ・シェイプとテレスコーピング・スライド機構の組み合わせで作られるのかも考慮すべきです。トロンボーンのようなスライド機構は、速いフレーズには挑戦的な要素になります。

4. ソロかセクションか

良いオーケストレーションの基本は、オーケストラを合唱団として考えることです。これは、ソロで歌わせたいフレーズなのか、全員で歌わせたいのかを自問してください。ブラスを他のオーケストラ・セクションとユニゾンで強化したり、色付けしたりする場合（例えばトロンボーンを弦バスと合わせるなど）、セクションを使用することをお勧めします。

5. ダブリング

異なるブラス楽器のブレンドは素晴らしいものです。同じ楽器グループ内のさまざまな音色は、無限の組み合わせや可能性を提供します。私たちにとって、ブラスはオーケストラの父親のような存在です。ビールとグレービーに満ちた暖かい抱擁を提供するような温かみから、恐ろしいまでの厳格さまで幅広い表現が可能です。ミュートやストップを組み合わせれば、さらなる可能性の世界が広がります。

6. オープン・マインド

ホルンが必要だと確信していますか？ 本当に？ トロンボーンを試してみることは考えましたか？ チンバソを知らないからと言って避けていませんか？ 仮想楽器の魅力は、試行錯誤しながら実験できる力にあります。楽器のリストをミュージシャンに渡す前に、いろいろ試してみましょう。探してみると、新しい発見があるかもしれません。

最後に、ブラスやウィンドのオーケストレーションにおいて最も重要な点、それはプレイヤーが演奏できるだけでなく、息継ぎできることです。ブラスやウィンドのパートを作成する際には、プレイヤーがどのように息を吸い込むかを想像してください。もしプレイヤーが呼吸できる余裕を作らなければ、曲の自然な流れが損なわれる可能性があります。自分が演奏する際に、ゆっくりと息を吐き出しながら、同じ時間内に数文のセリフを言うことをイメージしてみてください。もし息が続かないようなら、プレイヤーに呼吸の時間を与える必要があるでしょう。たとえ実際のプレイヤーを使わない場合でも、最初の一步は「無意識に感じるリアリティ」です。流れ、沈黙、休符——これらはすべて音楽の風景の一部です。音楽が初めて声楽から始まった頃から、これらの要素は音楽的表現のDNAの一部となっています。演奏の現実性（実際に演奏できる可能性）を取り除いてしまうと、最も音楽に無知なリスナーでさえ、無意識のうちに「何かが違う」と感じることになるでしょう。だからこそ、「呼吸」を意識しましょう！

エキスパート・ビュー



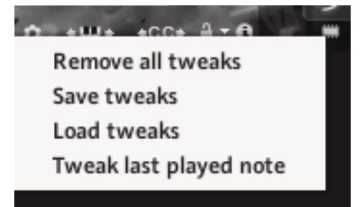
① サイド・バー

オーバービューでは使用中のアーティキュレーションを表示するのみですが、このビューでは追加機能にアクセスできます。



① a) ギア・アイコン

プリセットを微調整するための素晴らしいツールです。



How should we tweak?	ここには、直前に演奏したサンプルの情報が表示されます。
Skip this rr	常に次のラウンドロビンにジャンプ。
Adjust tune/vol	直近で鳴らしたサンプルのチューニングと音量を調整。
Adjust release	リリース・トリガーのレベルを変更。
Sample start	演奏がゆるく感じる場合は右に、きつく感じる場合は左に調整することで、演奏のタイトさを調整。
Remove all note tweaks	このメニューで行ったカスタムの変更をすべて削除。

② キーボード・シマイア

キースイッチのバンクを左右に移動します。アイコンをクリックしてカーソルを左右にドラッグするだけで、ピンク色のキースイッチのバンクが移動します。停止すると、新しいキースイッチが表示されます。

③ キースイッチCCセレクト

CCコントローラをアーティキュレーション／キースイッチとして使用します。CCを右クリックまたはCtrl+クリックして、アーティキュレーションを変更するコントローラを割り当てられます。

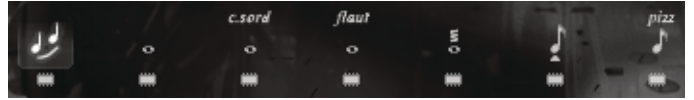
④ アーティキュレーション・ロック

アーティキュレーションを選択し、テンプレートを様々な方法で使用することができます。例えば、インストゥルメントの各インスタンスに1つのアーティキュレーションをロードすることを好む人も多いでしょう。そのため、一度アーティキュレーションを選択したら、マシン・ルームのスレーブから音が消えてしまわないように、アーティキュレーションの切り替えをロックしておくことをお勧めします！

Unlocked Artic	標準的な設定で、フロント・パネルまたはキースイッチでアーティキュレーションを選択。
Locked Artic	アーティキュレーションをロックし、フロント・パネルやキースイッチで変更できないようにします。
Locked Keyswitches	キースイッチでアーティキュレーションをロックしますが、フロント・パネルで自由に切り替えることができます。
Locked to UACC	UACCとは弊社開発による規格で、詳細を後述します。デフォルト・コントローラはCC32です。
Locked to UACC KS	UACCの機能にキースイッチの柔軟性を加えたものです。アクティブにすると、1つのキースイッチが使用可能になります。このキーを様々なベロシティ (UACC標準に対応) で押すことでアーティキュレーションが変化します。標準のUACCとは異なり、アーティキュレーションを重ねることができます。
Shared Keyswitches	大規模なライブラリでは、この設定により、複数のアーティキュレーションのパレットにキースイッチを分散させることができます。

② アーティキュレーション・スイッチャー

オーバービューと同様に機能しますが、各アーティキュレーションの下に■が追加されており、アーティキュレーションのロード／アンロードを制御



できます。ロードにはタイムラグが発生しますので、演奏前にすべてのアーティキュレーションが完全にロードされていることを確認してください。

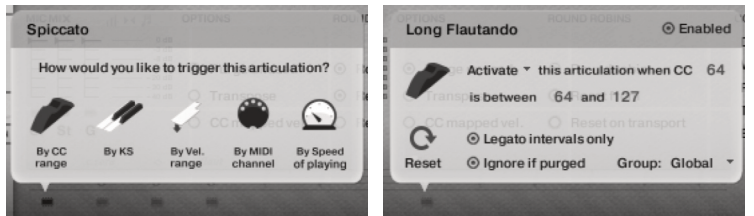


アーティキュレーションのレイヤー

アーティキュレーション・セット内でサウンドをレイヤーするには、次のアーティキュレーションをShift+クリックするだけです。レイヤー・アーティキュレーション・オプションが多数表示され、混乱することがありますが、フロント・パネルには、最近レイヤーされたアーティキュレーションのみが表示 (編集) されます。

トリガー

アーティキュレーション・アイコンをCtrl/command+クリックすると、トリガー・オプションが表示されます。



By CC Range

MIDI CCのメッセージ1つでアーティキュレーションを切り替え。

各アーティキュレーションを特定の範囲に設定し、MIDIコントローラのフェーダーや、CC値が割り当てられたボタンを使って、希望のアーティキュレーションを選択します。デフォルトのCCは、UACCプロトコルのCC#32です。

By KS

デフォルト設定。発音中には切り替わらず、次のノートオン・イベントから切り替わります。つまり、長いノートを演奏中にキースイッチを演奏して、次のノートからスタッカートに切り替えて演奏することができます。

By Velocity Range

キーボードを強く叩くとスタッカート・パッチをデザインする際に最適。

By MIDI Channel

シングル・インスタンスをマルチティンバー・インストゥルメントに変え、インストゥルメントは入力されたMIDIチャンネルに基づいてアーティキュレーションを変化させます。KONTAKTヘッダーでインストゥルメントのMIDIチャンネルをOmniにします。これによりMIDIチャンネルごとにインストゥルメントが反応するようになります。

例えば Staccatoをch 1に、Longをch 2に、Legatoをch 3に設定できます。

By Speed Of Playing

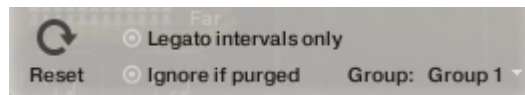
演奏の速度に応じてアーティキュレーションを切り替えます。選択すると、トリガーの時間範囲をミリ秒単位で指定するオプションが表示されます。例えば、ノートオフと次のノートオンの時間差が0~250msのときにFast Legatoが作動するように指定できます。


ユーザーの演奏スタイルやニーズに合わせて設定可能で、上部のEnabledのチェックを外すことで解除できます (アーティキュレーション・スイッチャー以外の画面では、アーティキュレーション・アイコンをAlt/option+クリックするだけでも解除できます)。

- 💡 アーティキュレーションにトリガーが割り当てられている場合、その上に小さなショートカット・アイコンが表示され、カスタマイズされていることを知らせます。このショートカットが表示されているアーティキュレーションをAlt/option+クリックすると、トリガーのOn/Offが切り替わります。レガート速度/ベロシティの切り替えを望まない場合は、素早くオフにする便利な方法です。



トリガー・パネル



Reset  は、このアーティキュレーションのトリガーをクリアします。

Groupは、トリガーをグループ化します。設定すると、同じグループ内のアーティキュレーションが現在アクティブな場合にのみトリガーが発生します。

アーティキュレーションを切り替える他の方法

手動、キースイッチ、または上記の高度な方法でアーティキュレーションを切り替えるだけでなく、後述のUACC (universal articulation controller channel) と呼ばれる新しいシステムもお試しく下さい。CC#32と付録の表を使ってみてください。

- 💡 アーティキュレーションを切り替える方法はたくさんありますが、多くのプロは、DAWのトラックごとに異なるアーティキュレーションを1つのインスタンスに設定することを好みます。

③ MIC MIX (マイク・ミックス)

マイクのブレンドを調整できます。

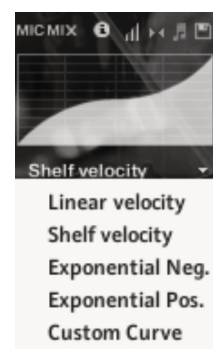
フェーダー下部の■で各マイク信号をロード／アンロードし、フェーダーでバランスを調整します。フェーダーを完全に下げると信号ごとアンロードされ、そこからフェーダーを上げるとリロードされます。フェーダーを右クリックしてMIDI CCをアサインして演奏しながらサウンドの空間的な性質を変化させることもできます。マイクの文字をクリックして、Kontaktの出力先を変更できます。



右上のアイコンを通じて、さらに詳細な設定が行えます。

① ベロシティ・レスポンス

コントローラのタッチに合わせて4つのベロシティ・カーブから選択。



② パン・マイク・コラプサー

ステレオ・イメージの扱い方を調整できます。ただし本ソフトウェアの収録時には、ミュージシャンはすべて一般的なスコアリング・セッションでのシート位置で演奏しているため、そのままだでも素晴らしいサウンドの広がりやディテールが得られます。



Stereo Width ステレオ・イメージの広がりコントロール。右に振り切ると、2つのパンポットを最大限にパンニングした状態と同じ。左端まで移動させると、両方のポットが中央に位置する状態と同じ。

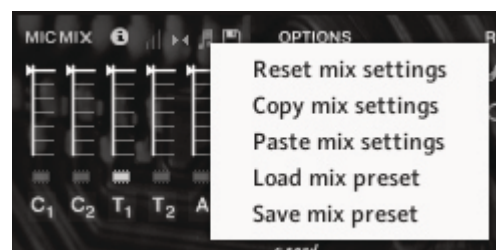
Stereo Pan ステレオ・イメージの中心がパン・フィールドのどこに置かれるかを調整。

③ アーティキュレーションとMIC MIXのリンク

マイク・ミックスや調整内容をアーティキュレーションに対してロックします。このライブラリではアーティキュレーションは使用されていないため、機能しません。

④ ミキサー・プリセット

パッチ間でミキサー設定を転送したり、プリセットをディスクに保存したり読み込んだりできます。



ミキサー・フェーダーのオートメーション

各フェーダーには専用のMIDI CCが割り当てられています。MIDIコントローラやコントロール・サーフェスに合わせて変更するには、コントロールを右クリックまたはCtrl+クリックしてLearnを選択した後に、MIDIコントローラを操作します。

マイク・ミックスのルーティング

各マイク・チャンネルを固有のKontaktチャンネルにルーティングするには、マイクの文字をクリックするだけです。例えば、アンビエント・マイクはサラウンド・チャンネルにルーティングすると快適です。また、最終的なミックス・セッションでエンジニアがバランスを調整することを想定して、個々のマイクをパラアウトする際にも活用できます。

④ 設定

OPTIONS

■ Presets

あらかじめ設定されたアーティキュレーション・セットを素早く簡単にロードできます。

■ Purge unused

メモリ使用量を可能な限り抑えるために、使用していないサンプルをアンロードし続けます。

■ Transpose

Onに設定し、数値を調整してインストゥルメントをトランスポーズできます。インストゥルメントは選択されたピッチにサンプルをオフセットします。

■ CC mapped vel.

ダイナミクス・スライダーでノート・ベロシティをコントロールできます。ユーザーがダイナミクス・スライダーをカスタマイズした場合、そのMIDI CCでベロシティをコントロールすることができます。

ROUND ROBINS & LEGATO**■ No extra functionality**

この隣にあるポップダウン・メニューには、次のような機能があります。

No extra functionality	ラウンドロビンが、意図された通りに使用される標準的なデフォルト。
Neighbouring Zones	隣の音からサンプルを借用し、ピッチに合わせて移調することで、ラウンドロビン数を稼ぎます。"5RR"インストゥルメントでは、キーを押したときに最大15種類の音を効果的に循環させることができます。
2x Round Robin With Skip	ラウンドロビンを2つ重ねて音を厚くします (全体の音量が~6db下がるので、レベルは変わりませんが、太いサウンドになります)。ラウンドロビンの1/2のペアの後に3/4のペアを再生するため、ラウンドロビン数は実質的に半分になります。
Layer 2x Round Robins With No Skip	上記と同様ですが、1/2のペアの後に2/3のペアが続くため、ラウンドロビン数は保持されます。

■ Round robin

使用するラウンドロビン (同じ音を複数回録音し、鳴らすごとに切り替えることで自然な響きを得る手法) の回数を指します。ドラッグでラウンドロビン数を指定。

■ Reset from F0

ラウンドロビン・サンプルをリセットする際に使用するキースイッチを指定します。指定キースイッチから半音上がるごとに、次のラウンドロビン・サンプルを指定し、その上でリセットできます。

■ Reset on transport

上記と同様ですが、プレイを押すたびにリセットされます！天才！

■ Short articulations RT

スタッカート／テヌート／マルカート・ノートに、リリース時に再生されるリリース・トリガーを付けるかどうかを切り替えます。

⑤ CONTROLLERS (コントローラ)

MIDIコントローラにこれらのCCをダイヤルすることで、感情豊かに表現することが可能になります。

Dynamics	CC#1。アクティブなダイナミック・レイヤーを表示および制御。モジュレーション・ホイールでもコントロール可能。
Vibrato	CC#21。ビブラートなし (Senza) からビブラート多め (Molto) にクロスフェード。
Release	CC#17。最大に設定すると、スローなパッセージで長いアーティキュレーションを使用する際に、トランジションをぼかすことができます。よりフォーカスを絞り、ディテールを際立たせたい場合には、値を小さくします。
Tightness	CC#18。サンプル波形の出だしをカットしてレスポンスを速くすることで、タイトなパッセージの演奏時にキレのあるサウンドを得ます。 リアリズムとタイトさを両立するためには適度なタイトネスを設定した上で、DAW上のトラックに対してマイナス値のディレイを設定します。お使いのDAWのマニュアルも参照してください。
Expression	CC#11。表面上は楽器のトリムですが、楽器の音量 (CC#7) 内における音量を調整します。Dynamicsと併用すると効果的。

オスティナトゥム



① 設定

Mode

あなたの演奏をどのように解釈するかを選択します。オスティナトゥムは最大で10音をシーケンスし、このとき1~10を並べる方法を下記より選択します。


Off	オスティナトゥムは使用できません。
Order Pressed	キーを押した順にノートに番号が付きます。
Ascending	低い音から高い音へ番号を付けます。
Descending	高い音から低い音へ番号を付けます。

また、このときのオプションは以下のとおりです。

Control Keyswitches	オスティナトゥムの状態をコントロールするキーボードのセクションを設定。
Solo Keyswitches	オスティナトゥムの各パターンを単独で演奏するキースイッチ。
Chord Mode	ノートの順序を無視し、すべてをポリフォニックで演奏します。

② リズム・コンピュータ

NOTE

クリックして、好きな長さのノートを入力します。ゴミ箱をクリックして削除するか、右側のドロップ・ダウンからプリセットを選択します。ギア・アイコン  からさらに詳細な設定が可能です。

LENGTH

Noteメニューで選択したシーケンスのノートの長さを表示します。下にドラッグすることで、指定した長さの休符バージョンを作成できます。

KEY

各ノートの下で、このノートがどのキー（トランスポートでリアルタイムに再生されるキー）に接続しているかを選択できます。上下にスクロールして選択します。

LEVEL

バーを上下に調節して、各ノートのベロシティ・レベルを調節します。

Load/Save

以前に作成したフレーズを保存できます。

③ パターン・セレクト

リズム・コンピュータのドロップダウンで最大8種類のパターンを切り替えられます。

デフォルトでは、これらのパターンは互いに重なっていますが、トラック・オプションを使ってソロに設定することもできます。



またはsoloのキースイッチ・オプションを使用できます。このキースイッチでは、9つの新しい（カスタマイズ可能な）キースイッチがキーボードに追加されます。

最初の1つは、すべてのトラックのミュートを解除して、同時に演奏可能にします。次の8つのキースイッチは、各トラックをそれぞれソロにします。

右側の画像は、トラック1にせわしい16分音符、トラック2にレイジーな8分音符をプログラムし、DAWでそれらをキースイッチで切り替える方法を示しています。



付録

推奨環境

最新バージョンのKontaktがインストールされていることを確認してください。

すべてのプログラムには、任意のパッチのCPU要求を抑制できるパラメータ・セットが提供されていますが、今後の快適な動作のためには高速なプロセッサ、十分なメモリ、SSD eSataやUSB3等の高性能な組み合わせをお勧めします。メモリが多いほどドライブ負荷は軽減されますし、完全な専用ドライブがあれば、メモリの読み込み量を減らしてロード時間を短縮できます。CPUの速度が速いほど、複雑なスクリプトを処理する能力も高くなります。

■ PC

Windows 7以降 (最新のサービスパック、32/64ビット)、Intel Core DuoまたはAMD Athlon 64 X2、4GB RAM (最小8GB) を推奨します。

■ MAC

Mac OS X 10.10以降 (最新のアップデート)、Intel Core 2 Duo、4 GB RAM (最小8GB) を推奨します。

■ ドライブ

USB3、Thunderbolt、またはeSata SSD。AV用途のドライブを販売店にお問い合わせください。

HDDの代わりにSSDドライブを使用すると、システムのパワーが大幅に向上します。シーク時間は7~9msではなく通常0.1ms未満で、この速度はパッチの全サンプルをページした状態で実行するのに十分な速さであり、演奏中のロードすら難なく行えます。また、サンプラーのプリロード・バッファを1/10に減らせるため、巨大なオーケストラ・パレットを単独のマシンにロードすることができます。

■ ホスト

Kontaktは、ほとんどの一般的なプラットフォームやDAWで快適に動作します。可能な限り最新版をご利用ください。

メインのDAWが古い、あるいはスペックに制約があり、大きなオーケストラ・パレットにSpitfireを追加する予定がある場合、ホスト・コンピューター（ReWire経由など）またはスレーブ・デバイス（MIDIやMOL経由など）で、DAWから独立してライブラリを実行することを検討できます。そうすることで、ローディング時間が短縮され、DAWがすべてのノートを最大限正確に処理できるようになります。

KONTAKTとKONTAKT PLAYER

Kontakt Playerは、開発者がライセンス料を支払ったライブラリで動作します。つまり、ユーザーはライブラリとこの再生エンジンをまとめて購入したことになります。

Kontakt Playerは、フロント・パネル上のすべてのサウンドと（編集可能な）パラメータにアクセスできます。また、これらのライブラリにはサイド・パネルに表示されるバナーもあります。

より深くエディットするにはフル・バージョンのKontaktが必要です。すでにKontakt Playerをお持ちで、私たちのPlayer対応ライブラリーを1つでも購入された方は、Native Instrumentsのウェブサイトからフル・バージョンのKontaktに割引価格でアップグレードすることができます。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

なお、すべてのライブラリがKontakt Playerに対応しているわけではなく、HarpやPiano、Harpsichordなどのようにフル・バージョンのKontaktでのみロードが可能な場合もあります。これらの中にはサイド・パネルにバナーが表示されないものもあり、Kontaktの[Files]ブラウザから読み込むか、Quick Loadウィンドウにお気に入りとして追加してロードする必要があります。

アーティキュレーション・リスト

Instruments

- Horn Solo 1
- Horn Solo 2
- Horns a4
- Piccolo Trumpet
- Trumpet Solo 1
- Trumpet Solo 2
- Trumpets a2
- Bass Trumpet
- Tenor Trombone Solo
- Tenor Trombones a2
- Bass Trombone Solo
- Bass Trombones a2
- Contrabass Trombone
- Tuba
- Contrabass Tuba
- Cimbasso
- Euphonium

Extended techniques

- Horn Solo 1 - Core techniques
- Horn Solo 1 - Decorative techniques
- Horn Solo 2 - Core techniques
- Horn Solo 2 - Decorative techniques
- Horns a4 - Core techniques

- Horns a4 - Decorative techniques
- Piccolo Trumpet - Core techniques
- Piccolo Trumpet - Decorative techniques
- Trumpet Solo 1 - Core techniques
- Trumpet Solo 1 - Decorative techniques
- Trumpet Solo 2 - Core techniques
- Trumpet Solo 2 - Decorative techniques
- Trumpets a2 - Core techniques
- Trumpets a2 - Decorative techniques
- Bass Trumpet - Core techniques
- Bass Trumpet - Decorative techniques
- Tenor Trombone SolCore techniques
- Tenor Trombone SolDecorative techniques
- Tenor Trombones a2 - Core techniques
- Tenor Trombones a2 - Decorative techniques
- Bass Trombone Solo - Core techniques
- Bass Trombone Solo - Decorative techniques
- Bass Trombones a2 - Core techniques
- Bass Trombones a2 - Decorative techniques
- Contrabass Trombone - Core techniques
- Contrabass Trombone - Decorative techniques
- Tuba - Core techniques
- Tuba - Decorative techniques

- Contrabass Tuba - Core techniques
- Contrabass Tuba - Decorative techniques
- Cimbasso - Core techniques
- Cimbasso - Decorative techniques
- Euphonium - Core techniques

Individual articulations

Horn solo 1

- Horn Solo 1 - Bells up Long
- Horn Solo 1 - Bells up Staccatissimo
- Horn Solo 1 - Fall Stopped
- Horn Solo 1 - Fall
- Horn Solo 1 - FX Swell Stopped
- Horn Solo 1 - FX Swell
- Horn Solo 1 - Long Flutter Stopped
- Horn Solo 1 - Long Flutter
- Horn Solo 1 - Long Sfz Stopped
- Horn Solo 1 - Long Sfz
- Horn Solo 1 - Long Stopped
- Horn Solo 1 - Long
- Horn Solo 1 - Multitongue
- Horn Solo 1 - Rip Stopped
- Horn Solo 1 - Rip
- Horn Solo 1 - Short Marcato Stopped
- Horn Solo 1 - Short Marcato
- Horn Solo 1 - Short Staccatissimo Stopped

- Horn Solo 1 - Short Staccatissimo
- Horn Solo 1 - Short Tenuto

Horn solo 2

- Horn Solo 2 - Bells up Long
- Horn Solo 2 - Bells up Staccatissimo
- Horn Solo 2 - Fall Stopped
- Horn Solo 2 - Fall
- Horn Solo 2 - FX Swell Stopped
- Horn Solo 2 - FX Swell
- Horn Solo 2 - Long Flutter Stopped
- Horn Solo 2 - Long Flutter
- Horn Solo 2 - Long Sfz Stopped
- Horn Solo 2 - Long Sfz
- Horn Solo 2 - Long Stopped
- Horn Solo 2 - Long
- Horn Solo 2 - Multitongue
- Horn Solo 2 - Rip Stopped
- Horn Solo 2 - Rip
- Horn Solo 2 - Short Marcato Stopped
- Horn Solo 2 - Short Marcato
- Horn Solo 2 - Short Staccatissimo Stopped
- Horn Solo 2 - Short Staccatissimo
- Horn Solo 2 - Short Tenuto Stopped [IR]
- Horn Solo 2 - Short Tenuto
- Horn Solo 2 - Trill (Major 2nd)
- Horn Solo 2 - Trill (Minor 2nd)

Horns a4

- Horns a4 - Bells up Long
- Horns a4 - Bells up Staccatissimo
- Horns a4 - Fall Stopped
- Horns a4 - Fall
- Horns a4 - FX Swell Stopped
- Horns a4 - FX Swell
- Horns a4 - Long Cuivre
- Horns a4 - Long Flutter Stopped
- Horns a4 - Long Flutter
- Horns a4 - Long Sfz Stopped
- Horns a4 - Long Sfz
- Horns a4 - Long Stopped
- Horns a4 - Long
- Horns a4 - Multitongue
- Horns a4 - Rip Stopped
- Horns a4 - Rip
- Horns a4 - Short Marcato Stopped
- Horns a4 - Short Marcato
- Horns a4 - Short Staccatissimo Stopped
- Horns a4 - Short Staccatissimo
- Horns a4 - Short Tenuto
- Horns a4 - Trill (Major 2nd)
- Horns a4 - Trill (Minor 2nd)

Piccolo trumpet

- Piccolo Trumpet - FX Swell
- Piccolo Trumpet - Long Sfz
- Piccolo Trumpet - Long
- Piccolo Trumpet - Multitongue
- Piccolo Trumpet - Short Marcato
- Piccolo Trumpet - Short Staccatissimo
- Piccolo Trumpet - Short Tenuto
- Piccolo Trumpet - Trill (Major 2nd)
- Piccolo Trumpet - Trill (Minor 2nd)

Trumpet solo 1

- Trumpet Solo 1 - Fall Muted
- Trumpet Solo 1 - Fall
- Trumpet Solo 1 - FX Swell Muted
- Trumpet Solo 1 - FX Swell
- Trumpet Solo 1 - Long Flutter Muted
- Trumpet Solo 1 - Long Flutter
- Trumpet Solo 1 - Long Muted
- Trumpet Solo 1 - Long Sfz Muted
- Trumpet Solo 1 - Long Sfz
- Trumpet Solo 1 - Long
- Trumpet Solo 1 - Multitongue
- Trumpet Solo 1 - Rip Muted
- Trumpet Solo 1 - Rip
- Trumpet Solo 1 - Short Marcato

- Trumpet Solo 1 - Short Staccatissimo Muted
- Trumpet Solo 1 - Short Staccatissimo
- Trumpet Solo 1 - Short Tenuto
- Trumpet Solo 1 - Trill (Major 2nd)
- Trumpet Solo 1 - Trill (Minor 2nd)

Trumpet solo 2

- Trumpet Solo 2 - Fall
- Trumpet Solo 2 - FX Swell
- Trumpet Solo 2 - Long Flutter Muted
- Trumpet Solo 2 - Long Flutter
- Trumpet Solo 2 - Long Muted
- Trumpet Solo 2 - Long Sfz Muted
- Trumpet Solo 2 - Long Sfz
- Trumpet Solo 2 - Long
- Trumpet Solo 2 - Multitongue
- Trumpet Solo 2 - Rip
- Trumpet Solo 2 - Short Marcato
- Trumpet Solo 2 - Short Staccatissimo Muted
- Trumpet Solo 2 - Short Staccatissimo
- Trumpet Solo 2 - Short Tenuto
- Trumpet Solo 2 - Trill (Major 2nd)
- Trumpet Solo 2 - Trill (Minor 2nd)

Trumpets a2

- Trumpets a2 - Fall Muted
- Trumpets a2 - Fall
- Trumpets a2 - FX Swell Muted
- Trumpets a2 - FX Swell
- Trumpets a2 - Long Extended Muted
- Trumpets a2 - Long Flutter Muted
- Trumpets a2 - Long Flutter
- Trumpets a2 - Long Muted
- Trumpets a2 - Long Sfz Muted
- Trumpets a2 - Long Sfz
- Trumpets a2 - Long
- Trumpets a2 - Multitongue
- Trumpets a2 - Rip Muted
- Trumpets a2 - Rip
- Trumpets a2 - Short Marcato
- Trumpets a2 - Short Staccatissimo Extended Muted
- Trumpets a2 - Short Staccatissimo Muted
- Trumpets a2 - Short Staccatissimo
- Trumpets a2 - Short Tenuto
- Trumpets a2 - Trill (Major 2nd)
- Trumpets a2 - Trill (Minor 2nd)

Bass trumpet

- Bass Trumpet - Fall
- Bass Trumpet - FX Swell
- Bass Trumpet - Long Flutter
- Bass Trumpet - Long Sfz
- Bass Trumpet - Long
- Bass Trumpet - Multitongue
- Bass Trumpet - Rip
- Bass Trumpet - Short Marcato
- Bass Trumpet - Short Staccatissimo
- Bass Trumpet - Short Tenuto
- Bass Trumpet - Trill (Major 2nd)
- Bass Trumpet - Trill (Minor 2nd)

Tenor trombone solo

- Tenor Trombone Solo - Fall Muted
- Tenor Trombone Solo - Fall
- Tenor Trombone Solo - FX Swell Muted
- Tenor Trombone Solo - FX Swell
- Tenor Trombone Solo - Long Flutter Muted
- Tenor Trombone Solo - Long Flutter
- Tenor Trombone Solo - Long Muted
- Tenor Trombone Solo - Long Sfz Muted
- Tenor Trombone Solo - Long Sfz
- Tenor Trombone Solo - Long
- Tenor Trombone Solo - Multitongue
- Tenor Trombone Solo - Rip Muted

- Tenor Trombone Solo - Rip
- Tenor Trombone Solo - Short Marcato
- Tenor Trombone Solo - Short Staccatissimo Muted
- Tenor Trombone Solo - Short Staccatissimo
- Tenor Trombone Solo - Short Tenuto

Tenor trombones a2

- Tenor Trombones a2 - Fall Muted
- Tenor Trombones a2 - Fall
- Tenor Trombones a2 - FX Swell Muted
- Tenor Trombones a2 - FX Swell
- Tenor Trombones a2 - Long Cuivre
- Tenor Trombones a2 - Long Flutter Muted
- Tenor Trombones a2 - Long Flutter
- Tenor Trombones a2 - Long Muted
- Tenor Trombones a2 - Long Sfz Muted
- Tenor Trombones a2 - Long Sfz
- Tenor Trombones a2 - Long
- Tenor Trombones a2 - Multitongue
- Tenor Trombones a2 - Rip Muted
- Tenor Trombones a2 - Rip
- Tenor Trombones a2 - Short Marcato
- Tenor Trombones a2 - Short Sfz
- Tenor Trombones a2 - Short Staccatissimo Muted
- Tenor Trombones a2 - Short Staccatissimo
- Tenor Trombones a2 - Short Tenuto

Bass trombone solo

- Bass Trombone Solo - Fall Muted
- Bass Trombone Solo - Fall
- Bass Trombone Solo - FX Swell Muted
- Bass Trombone Solo - FX Swell
- Bass Trombone Solo - Long Flutter Muted
- Bass Trombone Solo - Long Flutter
- Bass Trombone Solo - Long Muted
- Bass Trombone Solo - Long Sfz
- Bass Trombone Solo - Long
- Bass Trombone Solo - Multitongue
- Bass Trombone Solo - Rip Muted
- Bass Trombone Solo - Rip
- Bass Trombone Solo - Short Marcato
- Bass Trombone Solo - Short Staccatissimo
- Bass Trombone Solo - Short Tenuto

Bass trombones a2

- Bass Trombones a2 - Fall Muted
- Bass Trombones a2 - Fall
- Bass Trombones a2 - FX Swell Muted
- Bass Trombones a2 - FX Swell
- Bass Trombones a2 - Long Cuivre
- Bass Trombones a2 - Long Flutter Muted
- Bass Trombones a2 - Long Flutter
- Bass Trombones a2 - Long Muted
- Bass Trombones a2 - Long

- Bass Trombones a2 - Multitongue
- Bass Trombones a2 - Rip Muted
- Bass Trombones a2 - Rip
- Bass Trombones a2 - Short Marcato
- Bass Trombones a2 - Short Sfz Muted
- Bass Trombones a2 - Short Sfz
- Bass Trombones a2 - Short Staccatissimo Muted
- Bass Trombones a2 - Short Staccatissimo
- Bass Trombones a2 - Short Tenuto

Contrabass trombone

- Contrabass Trombone - Fall
- Contrabass Trombone - FX Swell Muted
- Contrabass Trombone - FX Swell
- Contrabass Trombone - Long Flutter
- Contrabass Trombone - Long Muted
- Contrabass Trombone - Long Sfz Muted
- Contrabass Trombone - Long Sfz
- Contrabass Trombone - Long
- Contrabass Trombone - Multitongue
- Contrabass Trombone - Rip
- Contrabass Trombone - Short Marcato
- Contrabass Trombone - Short Staccatissimo Muted
- Contrabass Trombone - Short Staccatissimo
- Contrabass Trombone - Short Tenuto

Tuba

- Tuba - Fall
- Tuba - FX Swell Muted
- Tuba - FX Swell
- Tuba - Long Muted
- Tuba - Long Sfz Muted
- Tuba - Long Sfz
- Tuba - Long
- Tuba - Rip
- Tuba - Short Marcato
- Tuba - Short Staccatissimo Muted
- Tuba - Short Staccatissimo
- Tuba - Short Tenuto

Contrabass tuba

- Contrabass Tuba - Fall
- Contrabass Tuba - FX Swell
- Contrabass Tuba - Long Sfz
- Contrabass Tuba - Long
- Contrabass Tuba - Rip
- Contrabass Tuba - Short Marcato
- Contrabass Tuba - Short Staccatissimo
- Contrabass Tuba - Short Tenuto

Cimbasso

- Cimbasso - Fall
- Cimbasso - FX Swell

- Cimbasso - Long Cuivre
- Cimbasso - Long
- Cimbasso - Rip
- Cimbasso - Short Marcato
- Cimbasso - Short Sfz
- Cimbasso - Short Staccatissimo
- Cimbasso - Short Tenuto

Euphonium

- Euphonium - FX Swell
- Euphonium - Long Sfz
- Euphonium - Long
- Euphonium - Short Marcato
- Euphonium - Short Staccatissimo
- Euphonium - Short Tenuto

Legato techniques

- Horn Solo 1 - Legato
- Horn Solo 2 - Legato
- Horns a4 - Legato
- Piccolo Trumpet - Legato
- Trumpet Solo 1 - Legato
- Trumpet Solo 2 - Legato
- Trumpets a2 - Legato
- Bass Trumpet - Legato
- Tenor Trombone Solo - Legato
- Tenor Trombones a2 - Legato

- Bass Trombone SolLegato
- Bass Trombones a2 - Legato
- Tuba - Legato
- Euphonium - Legato

Other patches

- Horn Solo 1 - Economic Longs
- Horn Solo 1 - Economic Shorts
- Horn Solo 1 - Light resources
- Horn Solo 1 - Time Machine
- Horn Solo 2 - Economic Longs
- Horn Solo 2 - Economic Shorts
- Horn Solo 2 - Light resources
- Horn Solo 2 - Time Machine
- Horns a4 - Economic Longs
- Horns a4 - Economic Shorts
- Horns a4 - Light resources
- Horns a4 - Time Machine
- Piccolo Trumpet - Economic Longs
- Piccolo Trumpet - Economic Shorts
- Piccolo Trumpet - Light resources
- Piccolo Trumpet - Time Machine
- Trumpet Solo 1 - Economic Longs
- Trumpet Solo 1 - Economic Shorts
- Trumpet Solo 1 - Light resources
- Trumpet Solo 1 - Time Machine
- Trumpet Solo 2 - Economic Longs
- Trumpet Solo 2 - Economic Shorts
- Trumpet Solo 2 - Light resources
- Trumpet Solo 2 - Time Machine
- Trumpets a2 - Economic Longs
- Trumpets a2 - Economic Shorts
- Trumpets a2 - Light resources
- Trumpets a2 - Time Machine
- Bass Trumpet - Economic Longs
- Bass Trumpet - Economic Shorts
- Bass Trumpet - Light resources
- Bass Trumpet - Time Machine
- Tenor Trombone Solo - Economic Longs
- Tenor Trombone Solo - Economic Shorts
- Tenor Trombone Solo - Light resources
- Tenor Trombone Solo - Time Machine
- Tenor Trombones a2 - Economic Longs
- Tenor Trombones a2 - Economic Shorts
- Tenor Trombones a2 - Light resources
- Tenor Trombones a2 - Time Machine
- Bass Trombone Solo - Economic Longs
- Bass Trombone Solo - Economic Shorts
- Bass Trombone Solo - Light resources
- Bass Trombone Solo - Time Machine
- Bass Trombones a2 - Economic Longs
- Bass Trombones a2 - Economic Shorts

- Bass Trombones a2 - Light resources
- Bass Trombones a2 - Time Machine
- Contrabass Trombone - Economic Longs
- Contrabass Trombone - Economic Shorts
- Contrabass Trombone - Light resources
- Contrabass Trombone - Time Machine
- Tuba - Economic Longs
- Tuba - Economic Shorts
- Tuba - Light resources
- Tuba - Time Machine
- Contrabass Tuba - Economic Longs
- Contrabass Tuba - Economic Shorts
- Contrabass Tuba - Light resources
- Contrabass Tuba - Time Machine
- Cimbasso - Economic Longs
- Cimbasso - Economic Shorts
- Cimbasso - Light resources
- Cimbasso - Time Machine
- Euphonium - Economic Longs
- Euphonium - Economic Shorts
- Euphonium - Light resources
- Euphonium - Time Machine

マイク、ミックスの略記

スタンダード・アレイ

標準製品の一部として利用可能。

T1: ツリー

指揮台の上に3本のマイクを設置するデッカツリーを指します。貴重なビンテージのNeumann M50が3本。これらは、バンドやホールの究極のサウンドを提供するために配置され、各パッチでロードされるデフォルトのマイク・ポジションです。

拡張アレイ

Studio Brass Professionalで利用可能。

C1 & C2: 近接

楽器の近くに最適なフォーカスが得られるように配置された真空管マイクのセレクション。このマイク・コントロールは明瞭で、時には少し"音の丸み"を加えるのに最適。

T1 & T2: ツリー

指揮台の上に3本のマイクを設置するデッカツリーを指します。貴重なビンテージのNeumann M50が3本。これらは、バンドやホールの究極のサウンドを提供するために配置され、各パッチでロードされるデフォルトのマイク・ポジションです。

A: アンビエント

バンドから離れたギャラリー（回廊）の高い位置に設置されたコンデンサー・マイクのセット。このマイク・ポジションは、バンドにステレオの広がりとルーム・サウンドを大量に与えます。他のマイクとミックスするのも良いですが、LsとRsのスピーカー・センドに送ることで、真のサラウンド情報が得られます。

O: アウトリガー

ツリーの左右に大きく離して配置されたビンテージ・マイクのセット。室内と演奏陣のバランスは同等ですが、ステレオの広がりが広がります。このマイクの効果は、ツリー・マイクとアンビエント・マイクの間隔的なもの。


ステレオ・ミックス

Studio Brass Professionalで利用可能。

Abbey Road Studiosのエンジニア、Simon Rhodesによる2種類の素晴らしいミックス。システム・リソースを節約できます。

UACC

旧製品『BML Sable』開発に伴い、楽器やライブラリに含まれる増え続けるアーティキュレーションへのアクセス方法を標準化することが困難になりました。キースイッチやCC#32は十分に機能するものの、セクションや楽器間で一貫性がなく、ビオラをバイオリン・セクションに置き換えるような単純なことさえ一苦労でした。

この問題に対処するため、弊社はインストゥルメントとライブラリ間のアーティキュレーション・コントロールを標準化する**UACC**を開発しました。これは、キースイッチのロック・オプション  でOnにし、上記と同じCCを使用します(同様にカスタマイズ可能)。これにより、各アーティキュレーションに対応する特定の値にCC#32を設定することで、アーティキュレーションを変更できます。以下は最新(v2)の仕様です。

Long (sustain)		Legato	
1	Generic	20	Generic
2	Alternative	21	Alternative
3	Octave	22	Octave
4	Octave muted	23	Octave muted
5	Small (1/2)	24	Small
6	Small muted	25	Small muted
7	Muted	26	Muted
8	Soft (flaut/hollow)	27	Soft
9	Hard (cuivre/overb)	28	Hard
10	Harmonic	29	Hramonic
11	Temolo/flutter	30	Tremolo
12	Tremolo muted	31	Slow (port/gliss)
13	Tremolo soft/low	32	Fast
14	Tremolo hard/high	33	Run
15	Tremolo muted low	34	Detache
16	Vibrato (molto vib)	35	Higher
17	Higher (sultasto/bells up)	36	Lower
18	Lower (sul pont)		
19	Lower muted		

Short		Decorative	
40	Generic	70	Trill (minor2nd)
41	Alternative	71	Trill (major 2nd)
42	Very short (spicc)	72	Trill (minor 3rd)
43	Very short (soft)	73	Trill (major 3rd)
44	Leisurely (stacc)	74	Trill (perfect 4th)
45	Octave	75	Multitongue
46	Octave muted	76	Multitongue muted
47	Muted	80	Synced - 120bpm (trem/trill)
48	Soft (brush/feather)	81	Synced - 150bpm (trem/trill)
49	Hard (dig)	82	Synced - 180bpm (trem/trill)
50	Tenuto	Phrases & Dynamics	
51	Tenuto Soft	90	FX 1
52	Marcato	91	FX 2
53	Marcato Soft	92	FX 3
54	Marcato Hard	93	FX 4
55	Marcato Long	94	FX 5
56	Plucked (pizz)	95	FX 6
57	Plucked hard (bartok)	96	FX 7
58	Struck (col leg)	97	FX 8
59	Higher	98	FX 9
60	Lower	99	FX 10
61	Harmonic	100	Up (rips/runs)
		101	Downs (falls/runs)
		102	Crescendo
		103	Decrescendo
		104	Arc
		105	Slides
		Various	
		110	Disco up (rips)
		111	Disco down (falls)
		112	Single string (Sul C/G/etc.)

本ライブラリのアーティキュレーションは、多くの特定のアーティキュレーションによって作成された、複雑なテクスチャーであるため、UACC#32の値は、最初のいくつかの番号(1から8)に優先的に割り当てられていますが、Short playable articulationsは例外で、上記の仕様で指定された通常の値に従います。

UACCキースイッチ

UACCキースイッチは、弊社製品およびアップデートの新機能です。ロック・パネル・メニューからUACCキースイッチをOnにすると、1つのキースイッチが使用可能になります。上記のUACC仕様を使用し、このキースイッチのベロシティでアーティキュレーションを切り替えます。

例えば、ベロシティ70でキースイッチを押すと「Trill (minor2nd)」アーティキュレーションに切り替わり、ベロシティ56で押すと「Plucked (pizz)」に切り替わります。UACC同様に、これらのベロシティ値を手動で入力することもできますが、DAWやタブレット・アプリの機能を使う方が簡単です。

UACC KSのUACCに対する主な利点は、キースイッチのノートをピアノロール上で重ねることでアーティキュレーションを重ねられることです。

FAQとトラブルシューティング

Q: Kontaktライブラリーのオフライン認証 (オーサライズ)。

⚠ 現在すべてのKontaktライブラリーは認証に際してネット接続を必要とします。特殊な環境でのご利用についてはNative Instruments社にお問い合わせください。

Q: ライブラリがKontaktのLibrariesペインから消えてしまう。

これはKontaktの既知のバグです。サポート・チームにご連絡ください。

Q: "no library found" エラー・メッセージ


新しいライブラリの追加時に、Kontaktで "No Library Found" というエラー・メッセージが表示される場合、購入した製品が "Player" ライブラリでないことが原因です。Kontakt左上のFilesブラウザー経由、またはKontaktウインドウ上にインストゥルメント・ファイルをドラッグして読み込んでください。

Q: KontaktとKontakt Playerの違い

別項参照。

Q: 製品の再ダウンロード方法。

Spitfire Audio Appから行えます。ライブラリ全体のダウンロード、または最新のアップデートの両方をリセットする方法は次の通りです。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から **Reset** を選択し、**Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または **Latest Update** を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。所有するすべてのライブラリについて、このプロセスを繰り返せます。

一定時間内にダウンロードをリセットできる回数には制限があります。リセットの制限を超えた場合は、ご連絡ください。

Q: ダウンロード／インストールの問題。

ダウンロードの過程で問題が発生する場合があります。その場合、以下をご確認ください。

- ドライブのフォーマットがFAT32の場合、4GB以上のファイル・サイズは制限されているため、弊社の大きなダウンロード・ファイルがエラーの原因となります。ドライブを再フォーマットするか、別のドライブを使用してください。PCではNTFS、MacではMac OS Extendedをお勧めします。
- ドライブに空き容量がある場合、各ライブラリの2倍以上の容量を確保してください。これは、ライブラリのダウンロード用スペースと解凍後(つまり実用時)のスペースが必要となるためです。容量の大きなドライブのご利用を推奨します(インストール時に必要なサイズは、該当製品のウェブページに記載されています)。

その他、

- 私たちのライブラリが非常に大きなファイルであるため、Spitfire Audio Appが圧縮ファイルの展開やドライブへの配置を行うにあたり長い時間を要することがあります。クラッシュしたのか、ファイルの処理中かが判断しきれない場合は、インストール開始時に選択したインストール・フォルダにアクセスしてください。すべてが正常に動作している場合は、フォルダ(またはそのサブフォルダの1つ)にさまざまなファイルが表示されます。
- "Download interrupted"(ダウンロードが中断されました)メッセージが表示される場合、IPの変更が原因である可能性があります。通常、VPNを使用している人や、ダウンロード中に国を跨いで移動した人がこのケースに当てはまります。サポート・チケットを取得し、ブロックを解除してもらってください。
- もしダウンロードが止まってしまったり、中断したまま再開されない場合は、spitfireaudio.com/supportのサポートチーム(英語)まで、お使いのオペレーティング・システム、お住まいの国、自宅か職場か、お使いのISP、お使いのコンピュータとインターネットの間にプロキシ・サーバーやファイアウォールがあるかどうかを合わせてお知らせください。

Q: インストゥルメント・ファイルの紛失。

ライブラリーを別の場所に移したり、アップデートに失敗したりすると、インストゥルメント・ファイルが失われることがあります。Spitfire Audio AppあるいはNative Accessで、該当するライブラリを再ダウンロードすることで問題が解消します。

Q: ダウンロード速度について。

私たちのライブラリはAmazon S3サーバーでホストされており、通常は非常に高速ですが、トラフィックが特に混雑する特定の時間帯に、ISPが接続速度を制限する可能性があります。

混雑の少ない時間帯にダウンロードを実行したままにしておくことで十分なダウンロード速度を期待できます。Spitfire Audio Appのダウンローダーは可能な限り帯域幅を使用し、最速の速度を提供することを目的としており、ピークに達するまでに数分かかる場合があります。

Q: 複数台のコンピューターへのインストール。

弊社製品には2つのライセンスがあり、メインとモバイルの2台のコンピューターにダウンロード、インストールできます。外付けのドライブ経由でライブラリをコピーすることで、簡単に両方のマシンにライブラリ全体をインストールできます。

Q: 購入前のデモについて

現在、製品のデモは提供していません。

私たちのYoutubeチャンネルにアクセスすると、私たちのすべての製品に関する詳細な情報を含む多くのウォークスルーを見ることができます！

Q: Spitfire Audio Appにライブラリが表示されない。

Spitfire Audio Appにログインして、**Installed**にも**Download Ready**にも購入済みの製品が表示されない場合、別のメール・アドレスで購入された可能性があります。過去に購入した他のメール・アドレスを確認すると、見つからない製品が見つかるかもしれません。そうではなく、数年前に購入された製品である場合は、サポート・チケットを作成し、お客様のアカウントのメール・アドレスと、紛失した製品に関連するシリアル番号をお知らせください。また、複数のアカウントを統合して、購入された製品をまとめることも可能です。

より多くの情報があればあるほど、迅速な復旧が可能となります！


Q: 製品のアップデート方法。

弊社製品のダウンロードは、Spitfire Audio Appが選択したフォルダにダウンロードされることが大前提です。弊社製品に最適なファイル・パスはシンプルです。ただし長いファイル・パスを指定した場合はエラーの原因となることがあります。サンプル・ドライブ > Spitfire Audioのようなパスが理想です。

またダウンロードやアップデート時、Spitfire Audio配下の実際のフォルダを指定せず、Spitfire Audioフォルダ自体を必ず指定してください。

Q: 最新のアップデートの再ダウンロード方法。

Spitfire Audio Appに、ダウンロードをリセットする機能が追加されました。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から **Reset** を選択し、**Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または **Latest Update** を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。

他のアップデートについても、このプロセスを繰り返すことができます。

Spitfire Audio Appにダウンロードをリセットするオプションが表示されない場合は、spitfireaudio.com/info/library-manager/から最新版のアプリをダウンロードしてください。

Q: ダウンロード・リンクがなかなか送られてこない。

当社では、すべての注文はまず不正チェック処理を経由しており、処理に20分ほど要します（ブラック・フライデーなどの繁忙期には1時間ほどかかることもあります）。この段階で注文が引っかかった場合、手動で注文チェックを行うため、注文処理は最大で24時間遅れる場合があります。

ご注文後、すぐに送付される注文確認メールは、お客様のご注文が弊社システムに正常に記録され、お支払いが正常に行われたことを確認するものです。サポートにご連絡いただく前に、迷惑メール・フォルダのご確認もお忘れなく。

Q: 異なるOS間でのデータの転送。

私たちのライブラリはすべて、PCとMacの両方で互換性があります（Kontaktの中で動作するため）。

PCまたはMacのどちらでダウンロードしても、もう一方のオペレーティング・システムに移行する必要がある場合は動作します。移行したいライブラリを外付けHDDにコピーしてから、もう一方のマシンにコピーすることをお勧めします。

Q: "samples missing"のエラー・メッセージ

ライブラリを移動したり、アップデートに失敗したりすると、サンプル・ファイルが失われる場合があります。また、必要な空き容量の不足したドライブにライブラリをインストールした場合にも、このエラーが表示されることがあります。このような場合、ライブラリを再ダウンロードすることで解消する場合がありますが、根本的な問題解決にあたっては前述の「Q:ダウンロード／インストールの問題」を参照してください。

Q: Mac OSX 10.9以前でのダウンロード

本製品のインストールに必要なSpitfire Audio Applは、Mac OSX 10.10以降にのみ対応しています。

Q: DEMOモードで開くインストゥルメント。

[DEMO]ボタンが表示され、パッチがタイムアウトする場合は、Kontakt Playerソフトウェアで非対応ライブラリを実行しようとしていることを意味します。私たちのPlayerライブラリは、お客様に代わってライセンス料を支払っているため、フルバージョンのKontaktを必要としません。

ただし弊社のPlayerライブラリをお持ちの場合、Kontaktのフルバージョンの割引を受けることができますので、導入をご検討ください。

⚠ 本サービスは予告なく終了する場合があります。

Q: Batch Resaveについて。

これを行う理由は2つあります。1つ目は、パッチの読み込みを高速化すること、2つ目は、パッチを読み込むたびに探す必要がないように、足りないサンプルを見つけて情報の補正を行うことです。処理時にもしKontaktのクラッシュが起こるようであれば、処理負荷を軽減するためサブフォルダーごとに小分けに処理してください。

Q: コレクションの購入方法。

弊社のサイトでは、ユーザーが既にお持ちの製品を確認した上でチェックアウト時に金額を差し引きます。念のため、製品購入後の確認画面には必ず目を通してください。

Q: 商品のシリアル番号の紛失。

Eメールを紛失してしまい、過去のシリアル番号を探すのに苦労することがあります。Spitfire Audioのサイトにログインすると、ユーザーの保有製品のすべてのシリアル・ナンバーが表示されます。もしお探しのシリアル・ナンバーが見当たらない場合は、[サポート](#) (英語) までご連絡ください。

Q: バグを発見しました。

バグを発見された場合は、関連する情報を添えてご連絡 (英語) ください。

- 見つけたバグの説明
- バグが発生しているスクリーン・キャスト (ビデオ)、またはオーディオの例
- プリセット名やライブラリ名など情報が詳細であるほど、問題の真相を究明するのに役立ちます。

Q: NCW圧縮フォーマットとは。

これはNative Instrumentの新しいロスレス圧縮サンプル・フォーマットで、サンプル・データ・プールを約55%削減することに成功しています。

Q: 払い戻し／返品ポリシーについて。

ダウンロード／インストール・プロセスを完了しておらず、14日以内に購入された場合は、返金／返品が可能です。まだシリアル番号を登録していない場合であってもインストールを完了された場合、返金と返品をお受けできません (使用許諾契約をご確認ください)。ハードディスク・ドライブのご注文の返金は、ドライブが弊社から発送される時点まで可能です。これは通常、ご注文から数日を要します。

Q: パスワードを忘れてしまいました。

パスワードをお忘れの場合は、spitfireaudio.com/my-account/login/の[forgot your password?] (またはこれに該当する日本語表記) をクリックしてください。もし過去に2つ以上のアカウントの統合を依頼したが忘れてしまった場合、統合を依頼されたメール・アドレスでパスワードの再発行が機能しない可能性があります。この場合は、お名前と、弊社が知っていると思われるメールアドレスをサポートまでご連絡ください。

Q: VEP - コントロール、GUIの表示

Vienna Ensemble Pro (VEP) のインスタンスをシーケンサーにconnect (接続) してMIDIを送る必要があります。VEPを実際に接続して起動することで、KontaktはGUIの描画を含むインストゥルメントのセットアップを完了します。



Spitfire Studio Brass Professional 日本語マニュアル

2024 ©Crypton Future Media, Inc. 2024/SEP issue
2024 ©Spitfire Audio Holdings Limited All Rights Reserved.

本書の一部またはすべてを、Spitfire Audio Holdings Limited、またその日本総代理店であるクリプトン・フューチャー・メディア株式会社に無断で複写、複製、転載、翻訳する事を禁じます。内容は予告無しに変更される場合があります。本書に記載されている会社名、商品名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

国内販売元: クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
ホームページ: <https://www.crypton.co.jp/>